

募集要項及び仕様書にかかる検討事項

【検討事項】

(1) 公募方法をどのようにするか

＜参考＞

- ・ 過去のカルチバ新川及びアルコ清洲の選定時は、ホームページ及び広報により公募を周知した。
- ・ 近隣市町村においても、当市と同様にホームページ及び広報により公募

(2) 協定期間は何年とするか

＜参考＞

- ・ サービスの継続性の確保、指定管理者のリスク軽減、長期固定化による弊害の排除、計画的な管理運営などを総合的に判断して、3～5年が基本である。
- ・ 現行のカルチバ新川：平成22年4月1日～平成26年3月31日（5年間）
現行のアルコ清洲：平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
- ・ 他の市町村では指定管理者が計画的な経営ができるよう5年の募集が多い状況である。

(3) 指定管理委託料の上限価格をどうするか

＜参考＞

- ・ 過去のカルチバ新川及びアルコ清洲の選定時は上限価格を設けた。
- ・ 委託料の設定上限額を決定するための判断材料
 - ① 単年度収支状況
 - ② 光熱水費の価格上昇
 - ③ ガスコージェネレーション更新工事による光熱水費の増加及び削減
 - ④ 消費税の増税

(4) プロポーザル参加団体数及びプロポーザルの時間配分をどうするのか

＜参考＞

- ・ 時間の都合上半日で実施できるのは、5団体が限度である。
- ・ 前回のカルチバ新川の応募申請団体は2団体で、プロポーザルは1団体50分（説明25分、質疑25分）とした。
- ・ 前回のアルコ清洲のプロポーザルは1団体50分（説明30分、質疑20分）とした。